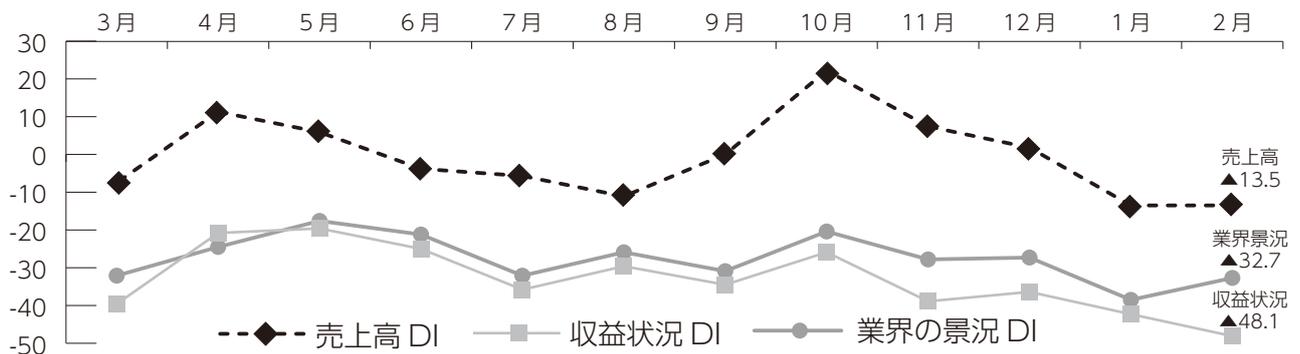


## コロナ禍からの回復の兆しが窺える

### 概況

サービス業ではコロナ流行前の売上を超え、菓子・石油小売業でも需要は上向く。また、各種イベント等も復活しておりコロナ禍からの回復の兆しが窺えた。しかし、製造業を中心に原材料及び燃料価格高騰に対して転嫁が追い付かず収益を圧迫しており、業況改善には至っていない。

### 主要DIの推移（全体）



### 景況天気図（前年同月比）

	売上高	在庫数量	販売価格	取引条件	収益状況	資金繰り	設備操業度	雇用人員	業界の景況
全業種平均	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
製造業	食料品	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	繊維製品	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️
	窯業・土石	☁️	☀️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	機械・金属	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️	☁️
	その他	☁️	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	☁️	☁️
非製造業	卸売業	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	小売業	☀️	☁️	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	商店街	☁️	☁️	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	サービス業	☀️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	建設業	☁️	—	☀️	☁️	☁️	—	☁️	☁️
	運輸業	☁️	—	☁️	☁️	☁️	—	☁️	☁️



天気図は、各景況項目について調査月と前年同月を比較して、DI値を基に判断したものです。  
DI値 = (増加・好転) - (減少・悪化) ÷ 回答数

## コメント掲示板

### 《製造業》

<b>食 料 品</b>	<p><b>[パン]</b> 各店舗の判断で値上げを行っており、その影響で来店客数と買上点数の減少がみられる。また、キャッシュレス決済導入の有無も来店動機に影響を及ぼしている。</p> <p><b>[菓子]</b> コロナの影響はほぼ無くなり売上は増加するも、包材の値上がりが顕著で収益には反映されず。</p> <p><b>[めん類]</b> 値上げの影響もあってか生麺・乾麺ともに動きが鈍かった。原材料価格上昇を受け依然として厳しい状況が続く。</p> <p><b>[畜産食料品]</b> 牛の屠畜頭数が順調で売上は増加した。従業員の確保が課題。</p>
<b>織 維 製 品</b>	<p><b>[織物]</b> 婦人服地はコロナ流行前水準には程遠いものの取引が増えてきており、コロナ禍からの立ち直りを感じる。</p> <p><b>[インテリア関連]</b> 昨年は円安進行を理由に値上げしたが、本年は電気・ガス代の高騰を理由に値上げせざるを得ない状況にある。</p>
<b>窯業・土石</b>	<p><b>[生コンクリート]</b> 県央地域の出荷が好調で、全県の出荷量は昨年7月以来はじめて前年を上回った。ただ、値上げ前価格の契約も残っており収益状況は悪化した。新価格の早期浸透が課題となる。</p> <p><b>[碎石]</b> 売上は東毛地域で増加するも、西毛・渋川・吾妻地域での落ち込みの影響が大きく、全体としては減少した。公共工事量が少なく、厳しい状況にある。</p>
<b>機 械 ・ 金 属</b>	<p><b>[めっき]</b> 原材料価格の再上昇に加え、燃料価格高騰の影響で製造経費が上昇している。特に電気代の上昇が突出して大きな負担になっている。また、中国に対する日米蘭の半導体製造装置の輸出規制に関する合意が中国製造業に及ぼす影響を注視している。</p> <p><b>[医用機器]</b> コロナ禍以降の生産量は増加し続けていたが、需要に落ち着きが見られる。コロナが5類感染症へと引き下げられる影響から、今後の動向に注意を要する。</p> <p><b>[自動車関連]</b> 全ての自動車メーカーが減産している。加えて、原材料・エネルギー価格高騰により下請企業の経営は圧迫されている。</p>
<b>そ の 他</b>	<p><b>[製材]</b> 商品単価は下落傾向にあり、荷動きも依然として悪く、売上は減少した。</p> <p><b>[印刷]</b> 資材価格と電気代の上昇が大きく、収益を圧迫している。</p> <p><b>[ゴム製品]</b> 自動車関係の受注の低迷が続き、売上は減少した。</p>

### 《非製造業》

<b>卸 売 業</b>	<p><b>[各種商品（高崎市）]</b> 組合主催のイベントを実施したところ、コロナ流行前を上回る来場者数を記録した。共同施設稼働率もコロナ流行前水準に回復しつつある。</p> <p><b>[食料加工卸]</b> 原材料費が3割程度上昇しており収益を圧迫。取引価格改定の交渉をしているが、仕入の不安定さから交渉が難航しているケースもある。</p>
<b>小 売 業</b>	<p><b>[家電]</b> 防犯意識の高まりから監視カメラ需要が増加し、電気代節約のためのエアコン買い替えも増加傾向にあるが、全体的な消費マインドの高揚は感じられず。</p> <p><b>[石油]</b> 原油価格の値下がりを受け、販売価格はやや低下した。政府の補助金の効果もあり元売会社からの卸売価格は安定している。需要はコロナ流行前水準に戻りつつある。</p> <p><b>[生花]</b> イベント等が復活しており需要が上向くも、光熱費・資材・花材が高騰し取引条件は悪化気味の状況。</p>
<b>商 店 街</b>	<p><b>[前橋市]</b> 物価上昇により家計消費支出は引き締め感が強い。一方、「無印良品」の出店があり、今後の来街者数増加に期待する。</p> <p><b>[沼田市]</b> コロナにより3年間中止していた大規模祭りの復活が決定した。また、テレビの収録があり、放映をきっかけに来街者が増加することを期待する。</p>
<b>サ ー ビ ス 業</b>	<p><b>[伊香保温泉]</b> 全国旅行支援割が再開されるも割引率が下がったこともあってか反響は大きくなかった。また、2月は観光庁補助事業の施設改修工事完了期限であり、休業する旅館もみられた。</p> <p><b>[草津温泉]</b> 学生のグループ旅行と外国人旅行者の増加が顕著で、団体ツアーも増加しており、コロナ流行前の売上を超えた旅館もみられた。</p>
<b>建 設 業</b>	<p><b>[解体工事]</b> 年度末工事が完了し、「空き家管理助成金」の対象外期間のため工事量が減少。営業エリアの拡大で販路開拓を図る。</p> <p><b>[電気工事]</b> 資材などが上昇し今後の経営圧迫が予想される中、賃上げを実施したいが対応に苦慮している。</p>
<b>運 輸 業</b>	<p><b>[一般貨物運送]</b> 大手の荷主からは価格改定の理解を得られるが、大多数の荷主に対しては転嫁は進まず収益状況は悪化した。普段は庸車を依頼する企業も自社で対応するなど、荷動きの状況が悪い上、燃料価格も依然として高値で推移し、厳しい状況が続く。</p>

※本調査は、情報連絡員55人の報告を取りまとめ、その概要を示したものです。